

平成29年度宇都宮市立豊郷中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「人間尊重の精神」を基盤に、激しい変化が予想される21世紀社会の担い手として、「心身ともに健康で、主体的に考え表現でき、ねばり強く頑張りぬき、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる人間」の育成を図る。

『かしこく』 進んで学びよく考える子ども（基礎学力を身につけ、自ら考え進んで学習する。）

『なかよく』 思いやりがあり心豊かな子ども（相手の気持ちを考え、だれとでも仲よくする。）

『たくましく』 元気でがんばる子ども（心身ともに健康で、粘り強く活動する。）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「子どもの笑顔と活気があり地域に開かれた信頼される学校」

子どもの健やかな成長のためには、学校生活の中で、学習がよく分かる喜び、自分の役割が分かり居場所のある喜び、友達や先生と心が通い合う喜びを味わわせることが大切であると考えます。

そのためには、教職員一人一人が組織の一員としての自覚をもち、互いを思いやり、居がいのある職場の中で学校目標達成に向けて同僚性を発揮していくことが望まれる。まず大切にしたいのは「わかる喜び」を実感させることができる指導力を身に付けるということである。子どもの学力を育て、心を育てることができる教師でありたい。さらに、保護者や地域への時機を得た発信と共通理解の下での連携を推進し、地域に根ざした教育活動を展開することが大切である。その結果、子ども一人一人の中に自己実現の喜びや自己肯定感などが育まれ、子どもの笑顔が輝く学校となっていくことを目指したい。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 「感謝の心」の育成を重点に、全教育活動を通して、豊かな心の教育を推進する。また、豊かな心の育成と関連を図りながら積極的児童指導を推進する。
- (2) 相手を思いやり、相手の考えや意見を尊重して話を聞く態度を育て、学習や生活の場面で、その大切さや意義を実感できるよう指導を重ねることで、児童の学びの充実やコミュニケーション力、想像力（イメージする力）などの育成を図る。
- (3) 本校の研究主題『よりよい社会を目指して、仲間とともに学び合う社会科の授業』に基づく研究を推進し、授業実践を通して「よりよい社会を目指し、社会の一員として進んで社会に関わろうとする児童」「社会的事象に関心をもち、主体的に追究しようとする児童」「社会的事象の意味を多面的に捉え、仲間とともに自分の考えを発展させようとする児童」を育成し、子どもが、自信をもって学習に取り組み、学びの喜びや楽しさを実感できるようにする。
- (4) 本校児童のよさ（生活面・学習面）を生かしながら、子どもの自主的・自治的活動を促し、活性化することにより、子どもの創造力・課題解決力などの育成を図り、自らの可能性を発見したり、成長を意識したりしながら、自信をもっていきいきと生活できるようにする。
- (5) 教科体育や食育、保健指導などの充実を図り、児童の健康や体力に対する関心を高め、目標をもって運動に取り組んだり、健康の増進に努めたりする児童を育成する。
- (6) 学校公開や情報発信による「地域の学校づくり」「開かれた学校づくり」を推進したり、家庭や地域と連携を図った取り組みを継続・発展させたりする。また、保護者との信頼関係をより確かなものとするため、連携・協力関係を強化する。
- (7) ○地域学校園において、豊郷中学校・豊郷北小学校・海道小学校との連携を深め、小中一貫教育・地域学校園を推進する。

【豊郷地域学校園教育ビジョン】

「豊かな郷の生き生きとした子どもたち」

〔重点課題〕

- ・分かる授業の実践や学習態度の育成、学習習慣の定着などにより学力向上を図る。
- ・すべての教育活動を通して豊かな心と社会性の育成を図る。
- ・健康や体力への意欲を高め健やかな体の育成と活力ある生活の確立を図る。
- ・家庭・地域との連携・協力を深め活気あふれる学校づくりに努める。

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】○子どもの笑顔と活気があり地域に開かれた信頼される学校

【学 習 指 導】自分の思いを豊かに表現し、伝え合い、学び合う児童の育成

【児 童 生 徒 指 導】○思いやりの心を持ち、ルールやマナーを守って行動する児童の育成

【健康（保健安全・食育）・体力】○運動に親しみながら、楽しく体力の向上を目指す児童の育成

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 （児童）「私は、今の学校が好きです」 肯定的回答 90%以上	地域の教育力を取り込みながら、児童の主体的な活動を推進し、児童が学校生活全体を通して、成就感や達成感を持つことができるように、一人一人に応じた支援やよさを認め伸ばす指導・支援に誠意をもって取り組む。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答率 91.5% 昨年より 2 ポイント減ではあるが達成している。 【次年度の方針】 児童一人一人に対して、個に応じた支援・指導を行い、様々な場面で児童の主体的な活動を促し、成就感や達成感を高められるような取り組みを行う。
	A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】 （児童）「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」 肯定的回答 90%以上	全教職員が学校経営の理念・方針等を共通理解し、児童のよさを認め励まししながら同一步調で協力して学習や諸活動の教育に当たる。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答率 97.7% 昨年より 1.5 ポイント減ではあるが、達成している。 【次年度の方針】 今後も全教職員が学校経営の理念・方針等を共通理解し、児童のよさを認め、励まししながら同一步調で協力して学習や諸活動の教育に当たる。
	A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】 （児童）「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 肯定的回答 80%以上	- 年2回（7月・1月）「みんなのやくそく強化週間」を実施し、基本的な生活習慣を朝の会で確認しあい、さらに定着させる。 - 道徳の授業の充実を図るとともに、日常生活の中で機会を捉えてきまりを守ることの大切さに気づかせる。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答率 82.0% 達成している。昨年より 1.3 ポイント増。 【次年度の方針】 児童の肯定的回答が 80%を上回っており、今後も継続し、授業と生活のきまりやマナーを意識させていくための指導の工夫・改善を全教職員で取り組んでいく。
	A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 （児童）「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 肯定的回答 90%以上	学習内容の工夫、指導法の改善、効果的な教材の使用や指導体制・指導形態の工夫を行い、より分かりやすい授業を展開し学力の向上を図る。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答率 96.8% 昨年より 1.3 ポイント減ではあるが、達成している。 【次年度の方針】 効果的な教材の活用や指導法の工夫・改善、また、指導体制・指導形態（個に応じた指導）の工夫を行い、より分かりやすい授業を展開し学力の向上を図る。
	A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 （児童）「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 肯定的回答 90%以上	全教職員共通理解の下、いじめは絶対許されないことを指導するとともに、児童の小さな変化にも心を配り、チームで問題解決に取り組む。	B	【達成状況】 児童の肯定的回答率 98.5% 十分達成している。昨年より 0.1 ポイント増。 【次年度の方針】 改訂版「豊郷中央小学校いじめ防止基本方針」のホームページ掲載、学校だよりでの公表を積極的に進めていく。

A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】 (保護者)「学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている」 肯定的回答 90%以上	・ 週案で時数管理を行うことにより、教育課程が適切に実施されるようにする。 ・ 学校行事の計画立案・検討の際に、昨年度の反省を踏まえた改善を確実に図り、適切な運営ができるようにする。	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 97.0% 達成している。昨年より 1.3 ポイント増。 【次年度の方針】 ・ 児童の実態に即した教育課程を編成し、地域の人材・施設等を有効活用するとともに、各種行事等の評価・改善を行い、より一層充実した教育活動を行う。
A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。 【数値指標】 (保護者)「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 肯定的回答 90%以上	・ 保護者や地域の方に年 3 回の授業参観や年 2 回のオープンスクール及び学校・学年行事への参加を促し、学校の様子を見てもらうとともに、学校だよりやホームページなどで各教育活動の趣旨や取り組みの様子等の情報を発信し、学校への理解を深める。	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 95.8% 昨年より 0.7 ポイント減ではあるが達成している。 【次年度の方針】 ・ 学校ホームページを様々な機会に周知し、また、各種便り等で、学校の教育活動について積極的に情報を発信し、「開かれた学校づくり」を目指す。
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。 【数値指標】 (保護者)「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 肯定的回答 85%以上	・ 近隣の事業所・公共施設等との連携・協力により実施する生活科の「町たんけん」や、北高・白楊高の生徒・教員等の協力を得て実施する総合的な学習の時間など、保護者や地域のボランティア等による教育活動への支援をとおして地域の学校づくりを推進する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 94.5% 達成している。昨年より 0.4 ポイント増。 【次年度の方針】 ・ 地域の施設・人材を有効活用し、また、幼・小・中・高・大との連携・交流を通して、学校の教育活動の充実を図る。また、様々な支援に対する感謝の気持ちを育み、挨拶や感謝の言葉の指導を行う。
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】 (保護者)「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 肯定的回答 80%以上	・ 学年縦割り班による清掃活動や花壇の整備などの委員会活動、PTA 奉仕活動や地域協議会による校内環境整備の取組などにより、学習にふさわしい施設・設備の維持管理に努める。	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 89.0% 昨年より 0.7 ポイント減ではあるが達成している。 【次年度の方針】 ・ 引き続き P T A 奉仕活動、地域協議会、学校内の清掃活動で学習環境にふさわしい環境整備に努めていく。
A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 (保護者)「学校は、小学校と中学校が連携した取り組みを行っている」 肯定的回答 80%以上	・ 地域学校園のビジョンに基づいて、各小中学校と連携しながら学力の向上や豊かな心の育成、健やかな体の育成に努める。	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 87.6% 達成している。 【次年度の方針】 ・ 宮っ子チャレンジウィーク、なかよしお弁当の日、なかよし献立、図書の紹介、小中あいさつ運動等を継続し、活動内容・成果を保護者、地域に発信する。

教育活動の状況	B	B 1 教職員は、誠実に職務を遂行し、笑顔あふれる潤いのある職場づくりに努めている。 【数値指標】 (保護者)「教職員は、誠実に職務を遂行し、笑顔あふれる潤いのある職場づくりに努めている。」 肯定的回答 90%以上	全教職員が、教育目標の達成に向けて誠実に職務を遂行し、児童の成長と同僚の成長とともに喜び合える笑顔あふれる潤いのある職場づくりに努める。	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 92.0% 昨年より 1.8 ポイント減ではあるが達成している。 【次年度の方針】 教職員の協調性、チームワークを高めながら、使命感をもって勤務実践に努める。また、保護者・地域住民と、児童の成長とともに見守り、喜び合える良好な関係づくりに努める。
		A11 児童は、進んであいさつをしている。 【数値指標】 (児童)「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 肯定的回答 80%以上	地域ぐるみのあいさつ運動を展開するとともに、校内でも「あいさつ運動」を実施し、教職員が進んで挨拶したり言葉かけをしたりして、進んで挨拶ができるような雰囲気づくりに努める。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 92.5% 十分達成している。昨年より 0.8 ポイント増 【次年度の方針】 生活向上委員会を中心とした「あいさつ運動」と学級輪番制の「あいさつ運動」を継続して実施していく。
		A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 (児童)「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」 肯定的回答 80%以上	言語環境の整備に努め、全教職員が、望ましい言葉遣いや相手を思いやる言動などを継続して丁寧に指導する。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 85.4% 達成している。昨年より 4.2 ポイント増。 【次年度の方針】 相手を思いやる言動と正しい言葉遣いを常日頃から指導していくとともに地域の方（ボランティア等）への感謝の気持ちを伝える指導を引き続きしていく。
		B 2 教職員は、思いやりがあり心豊かな児童を育てるための指導に熱心に取り組んでいる。 【数値指標】 (保護者)「教職員は、思いやりがあり心豊かな児童を育てるための指導に熱心に取り組んでいる」 肯定的回答 90%以上	「感謝の心」の育成を重点に、相手の考えや意見を尊重して聞く態度を育て、学習や生活の場でその大切さや意義を実感できるよう指導するとともに、人権週間や読書タイムの充実を図るなど、豊かな心の育成を推進する。	【達成状況】 保護者の肯定的回答率 88.3% 昨年度より 3 ポイント減。 【次年度の方針】 人権週間の充実（人権標語の募集）、学年便りでの保護者への啓発、人権に関する道徳の授業や読書タイムの活用・充実を通し、人権意識の高揚を図っていく。
		A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 (児童)児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している 肯定的回答 80%以上	「とよおうサーキット」を実践し、個に応じた助言を行うことにより、基礎体力の向上を図る。 - 学校全体でミニマム達成状況の向上を目指した指導を行う。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 90.2% 昨年より 0.1 ポイント減ではあるが達成している。 【次年度の方針】 各種運動検定や児童会を中心とした体力を養う活動を設け、意欲的に運動することを習慣化させ体力向上につなげていく。
		A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】 (児童)「児童は、好き嫌いなく給食を食べている」 肯定的回答 80%以上	日常の給食指導のほか、各教科での食育との連携を図り、給食を残らず食べようとする気持ちを育てる。また、保護者への啓発を行い、食育の充実を推進する。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 83.3% 達成している。昨年より 3.3 ポイント増。 【次年度の方針】 食への感謝の気持ちや栄養バランスを考えて食べることの大切さを引き続き指導していく。嫌いなものでも少しだけ食べてみようという指導もしていく。

学 習	B 3 共遊の時間や縦割り活動など体を動かして遊ぶ楽しさを味わわせている。 【数値指標】 (児童)「共遊の時間や縦割り班活動などで、楽しく体を動かしている」 肯定的回答 90%以上	学級で共遊の時間を設定するなど、体を動かす楽しさを味わわせる。また、縦割り集会では縦割り班で行う楽しい遊びを紹介し、体を動かして遊ぶ楽しさを体験させていく。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 96.6% 達成している。昨年より 1.8 ポイント増。 【次年度の方針】 共遊の時間や縦割り活動などの活動場所・内容などを検討し、楽しく体を動かす活動の充実を引き続き図っていく。
	A 15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 (児童)児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している 肯定的回答 85%以上	「できた」「わかった」という実感がもてるような学習活動を工夫する。また、子どものよさや活力を生かした授業の展開を実践する。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 91.1% 達成している。昨年度より 0.2 ポイント増。 【次年度の方針】 自信を持って学習に取り組めるように学習活動を工夫する。話し合いでは、自分の考えをもち、伝え合うことで互いの考えのよさを認め合い、学びの喜びを実感させる。また、つまずきのある児童への支援など個に応じた指導を継続していく。
	A 16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】 (児童)児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している 肯定的回答 85%以上	学習のきまりを継続して指導し、基礎基本の確実な定着に努めるとともに、集中して取り組めるような指導を工夫する。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 85.5% 達成している。昨年より 1.9 ポイント増。 【次年度の方針】 - 学習のきまりを継続して指導し基礎基本の確実な定着に努める。 - 落ち着いた学習環境にするために、児童指導面と関連づけ個に応じた指導を継続していく。 - 大事なことを落とさず正確に聞く指導を継続していく。
本 校 の 特 色 ・ 課 題 等	B 4 地域の特色を生かした教育活動を進めるために、家庭や地域と連携したふれあい活動を積極的に推進している。 【数値指標】 (児童)「地域の自然や特色について、地域の人たちとのふれあい活動をたくさん行っている」 肯定的回答 90%以上	地域の文化財や特色を生かした教育活動をさらに充実させるために、年間計画の見直しや事前の計画的な準備、打合せを十分に持ち、効果的な体験活動やふれ合い活動を進めて、地域を理解し親しむ児童を育ていく。	【達成状況】 児童の肯定的回答率 93.5% 昨年より 0.8 ポイント減ではあるが達成している。 【次年度の方針】 地域の自然・文化財や特色を生かした教育活動をさらに充実させるために、地域や家庭と連携を図り、効果的な体験活動やふれ合い活動を進めて、地域を理解し親しむ児童を育ていく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 多くの項目が肯定的回答（「とても思う」と「まあ思う」を合わせたもの）の数値目標を上回る高い評価だった。また児童の回答結果は、19項目中9項目で前年度の肯定的回答を上回った。（19項目中、1項目は新規）
- A 1 1の「あいさつ」については、地域住民・保護者の肯定的回答はやや低いが、保護者は73.9から76.9と増加した。また、数値指標の児童は91.7から92.5、教職員は89.2から92.7と向上し、児童の挨拶しようとする意識が高まってきている。今後も生活向上委員会を中心とした「あいさつ運動」や教職員による挨拶、学級ごとの取り組みを継続し、挨拶の仕方や意義を再確認させ、日常お世話になっている方々などへの挨拶ができるよう全教育活動を通して指導を展開していきたい。
- A 1 2の「言葉づかい」については、児童・教職員ともに肯定的回答が昨年より増加し、児童の数値指標を上回り85.4であった。お世話になった地域の方へのお礼の言葉を述べたり、「ことばの時間」でよりよい言葉づかいについて学習したりして意識付けを図ってきたが、保護者・地域住民の評価は低い傾向にある。B 2の「思いやりがあり心豊かな児童の指

導」と関連づけながら、今後も相手を思いやる言動と正しい言葉づかいを常日頃から指導していくとともに、地域の方（ボランティア等）への感謝の気持ちを伝える指導や機会を捉えて振り返る場を設定するなどの工夫を重ねていきたい。

- ・ A16の「落ち着いて学習している」については、今年度、児童の肯定的回答が83.6%から85.5%に増加し、数値指標である85%を上回った。今後も児童指導と関連付けながら学習のきまりを継続して指導していくとともに、児童自らがきまりの意味を考え、主体的に学習に取り組む態度を高めていきたい。

6 学校関係者評価

- ・ 挨拶では、放課後子ども教室の子供たちの様子を見てみると、よくなってきている。今後も地域の大人が子供たちに声をかけることで子供たちとコミュニケーションを図り、自然と挨拶ができるようになるとうい。
- ・ 地域住民からは、学校や児童の様子が見えないことや分からないことがあるようだ。今後も学校の取り組みをホームページ等で公開していくとうい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・ 次年度も引き続き、「子どもの笑顔と活気があり地域に開かれた信頼される学校」をめざし、学習がよく分かる喜び、自分の役割が分かり居場所のある喜び、友達や先生と心が通い合う喜びを味わわせることができるよう、教職員の共通理解のもと、全教育活動の見直しと改善を図る。
- ・ 「感謝の心」の育成を核とした、『豊かな心の教育』や『人権教育』の推進、子どもの主体性や創造性を発揮する活動の推進などにより、子ども一人一人が安心して楽しく学校生活ができる雰囲気や環境、いじめのない学校づくりに全教職員で努力するとともに、いじめの実情公表に努める。
- ・ 保護者との信頼関係をより確かなものとし、連携・協力関係を強化するため、今後も各種だよりやホームページ等での情報発信を充実させるなど、学校の取組をより分かりやすく伝えるための方法・内容の改善を図る。
- ・ 日常生活の中で、授業と生活のきまりについて意識させていくための工夫・改善や、学習の基本である「聞くこと」の指導を充実させ、落ち着いた学習環境づくりに努める。
- ・ 学校園のあいさつ運動をはじめ、児童会による校内あいさつ運動などをとおして、あいさつのできる児童を育てていく。また日頃から相手に聞こえる声の大きさであいさつできるように励まし、声かけをしていく。
- ・ 教職員は児童の言葉遣いについてその都度指導してきている。今後も生活面で「心をつなぐことば」や学習面で「自分の考えを深めることば」について、その意味や意義などを伝え、実践に結びつくような活動を工夫する。また、地域の方（ボランティア等）への感謝の気持ちを伝える指導を保護者と連携しながら充実させるなど、さらに相手を意識した言葉遣いができるよう取り組んでいく。